

レが 公民館報

第297号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,937	世帯
人口	4,876	人
男	2,363	人
女	2,513	人
(平成27年3月1日現在)		

第10回

四賀地区 寒い季節に熱くなる！ ソフトバレーボール大会



三月一日に、一般の部に三十チーム、四十歳以上の部に十一チームの参加でソフトバレーボールの大会が開かれました。会場の四賀小学校体育館と会田中学校体育館には大勢の選手と応援の皆さんが集まり、冷たい雨の中でしたが、熱戦が繰り広げられました。



第10回 四賀地区

ソフトバレーボール大会結果

	一般の部	40歳以上の部
優勝	反町A	殿野入C
準優勝	イノセンス(穴沢)	刈谷原町ブラックニッカ
第3位	刈谷原町スーパーニッカ	板場
	執田光	保福寺町A



来年度もスキー教室を開催する予定です。今までやったことのない方も、是非気軽に参加して、ウインタースポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。

最初に、準備運動をした後、松本市スキークラブの講師から、初心者・初級・中級に分かれて、基本から指導を受けました。参加者は、講師から滑るコツを習得して、最初とは見違えるほど上達した滑りをしていました。

今年も、スキー教室が二月二十四日、小学生や親子など二十三人が参加し、素晴らしい好天の中、爺が岳スキー場で開催されました。

白銀を滑り降りよう！
スキー教室開催

手づくり贈ろう
バレンタイン
料理教室開催



完成後は、色とりどりのリボンで可愛くラッピング。試食タイムに手作りの漬物と熱いほうじ茶が登場するのは、四賀地区ならではの光景です。今回は地区外の方も大勢参加され、四賀を知っていただく良い機会ともなりました。

バレンタインデーに合わせた手作り菓子の講習会が、二月十四日に四賀保健センター調理実習室で開かれました。
おなじみの横内理恵子先生を講師に迎え、おしゃれでプレゼンTにもぴったりの二種類のお菓子の作り方を学びました。

一つ目は、フランスのカトー・シヨコラ。英語でいえばチョコレートケーキのことです。チョコレートとバターをたっぷり使い、濃厚な味に仕上げました。味は本格的ですが、材料を混ぜて焼くだけなので、初心者でも簡単に作れます。
さらにもつ二種類、パンナコッタというイタリア発祥のミルクプリンのようなお菓子も作りま

歩いて学ぶ 地区の宝

板場地区 再発見
ウォーキング

福祉ひろばと公民館共催の真冬のウォーキングが、一月二十一日に行われ、地区内のシニア層を中心に二十名ほどが参加しました。
一行は午前十時に支所を出発し、地元の竹内哲夫さんの案内で、まず板場諏訪社に参拝。鎮守の木として大切に受け継がれてきたケヤキを見学しました。



板場諏訪社のケヤキ

福寿草まつり開催

3月14日～24日の11日間



ミス松本と四賀小学校金管クラブのバレードで始まりました

その後、四賀地区で最大といわれる個人宅の大ケヤキに向かいました。樹高三十五メートル、目通り幹囲四・八メートルの巨木で、かつては見事な枝ぶりでしたが、老木のためか樹勢の衰えが見られるのが残念でした。板場の高台からは虚空蔵山とその麓に広がる里山の様子が一望でき、厳冬期ならではの清々しい風景が楽しめます。
沿道から見える山は松くい虫の被害で真っ赤に枯れた地域もあり、参加者から思わずため息が漏れる一場面も。その後もおしゃべりを楽しみながら歩き続け、反町の「寄つてけや福寿草」で昼食。一休みした後、四賀支所に無事戻りました。沿道に雪の残る寒さの中でしたが、心も体も温まる一日となりました。

第13回
生涯学習の成果を発表
大楽(まどい)



二月二十二日、松茸山荘ふれあい研修センターで、「大楽い」が開かれました。日頃の練習の成果が、福寿草倶楽部の仲間披露されました。大正琴、舞踊、詩吟、コーラスの舞台発表と「硯の会」の活動報告があり、おなじみの民話劇も上演されました。
福寿草倶楽部では、一緒に学び、楽しむ仲間を募集しています。みなさんも一緒に生涯学習を楽しみませんか。



湧き水

▼暖冬と言われた今年は零下になる頻度が少なかったが、それでも長い信州の冬を乗り越え、春らしい陽気になってきた。

▼私は、時々、所用で県外の街に出る。コンクリートやガラスに囲まれた街は近代的で美しく、緑化されてはいるが、何か無機質で冷たい。人が多いため、ぶつからないように早足で人の間を縫って歩いても、疲れた時に休みたくても飲食店などは満席で休めない時もある。人ごみに流されとどまっていられない。

▼四賀に戻ると、ホッとするのは、自然に囲まれ静かで温かいからか。時間は穏やかに流れ、ぶつからないようにしなくてもぶつかることなく、いつだってそこにいられる。

▼都会には都会の良さがあり、田舎には、田舎の良さがある。私は、両方を知ることから、両方の良さを伝えることができると思っている。
▼今年の四賀も、いろいろなイベントが控えている。とりわけ、この秋に計画されている『四賀にきましょ』は、里山、特に今回は森をテーマにしているの期待している。